

道路法面調査し対策を

災害時、孤立集落発生を阻止

6月定例県議会県土整備常任委員会

山本義一県議は6月定例県議会の県土整備常任委員会で、本県の防災対策の強化を図るための6月補正予算案について、道路法面の緊急点検の進め方や今後の対策等を尋ねました。法面の最新の状態を把握し、効果的な対策の検討を実施した上で、早急に工事等を進めていくとの報告に対し、重点的に法面の調査を行い、孤立集落が発生することが無いよう早急な対応を要望しました。

山本委員 能登半島地震の被害状況を踏まえ、半島という共通する特性を有する本県において防災対策を強化するため、6月補正予算を編成し、法面の緊急点検を実施するとの説明があったが、緊急点検とは具体的にどのようなことを実施するのか。

道路環境課長 今回の緊急点検では、平成28年度、29年度に実施した点検で優先度が高いと判定された箇所のうち、緊急輸送道路で道路が閉塞した場合に迂回路が限られるなど、迂回が困難となる90箇所について、近接目視によって、前回の点検記録との比較を行い、変状やクラックの進行の有無を確認するとともに、ドローンなどの新技術を活用した調査により3次元地形データを取得し、今後の対策の検討のための基礎資料を取得する予定です。

山本委員 6月18日の大雨によって、県管理の国道128号鴨川地先で崩落があり、また県道でも市原市国本地先のトンネル前で崩落があつて、全面通行止めとなった。鴨川の方は6月29日に通行可能になったことで、早急に対応いただいたが、そういう土砂崩れが発生したところであり、地震に限らず、大雨や台風などによる土砂災害に備えるために、早急に法面対策



圏央道の工事現場を視察する山本委員



一部三県議会議長会に出席した山本委員らと他の議員



茨城県での関東甲信越一部九県議会議長会でJAXAを視察する山本委員らと他の議員

予算の上乗せを要望

山本委員 今回の緊急点検では、全ての道路法面を調査することが困難であることから、優先度を付けて調査をされるものと考えているが、点検が実施されない箇所もあると思う。

道路環境課長 今回の点検を実施しない道路法面についても、引き続き、点検を行うことが重要と考える。そこでかかろうが、緊急点検を実施した後、法面の対策をどのように進めていくのか。

道路環境課長 今回の緊急点検により法面の最新の状態を把握し、優先順位の見直しや効果的な対策の検討を実施した上で、早急に

山本委員 これから台風シーズンに入るので、早急な対応を願います。

山本委員 今後の緊急点検では、法面の状況を把握した上で、必要な対策を進めていきたいと考えています。なお、日々のパトロール等により異常が確認された箇所については、通行に支障がないよう、対策を実施し、安全な通行の確保に努めてまいります。

山本委員 6月29日に県管理道路で2箇所通行止めが発生し、1箇所はまだ全面通行止めになっている。もう1箇所は路面が陥没したということ

で、早急に復旧するといいう話は聞いていますが、先日のように大雨によってまた起こり得る。今回5000万円の補正予算を組んでいるが、当然これだけでは足りないと思うので、また補正など組んでほしい。また孤立集落の

質問 「新しい成田空港」構想検討会の議論を受け、県は空港周辺の地域づくりにどのように取り組んでいくのか。

知事 県は、空港周辺の地域づくりに関する「実施プラン」の推進や進捗管理を通じ、空港周辺地域全体の地域づくりのコーディネートをしているところだ。

地域づくりを含む構想検討会の議論等も踏まえ、現在、県及び国・空港周辺9市町・空港会社の四者で実施プランの見直しを進めており、その中で、目指すべき姿を

空港周辺地域づくり加速

6月定例県議会自民党代表質問

質問 児童相談所の体制強化に向けた取組状況はどうか。

知事 県では、児童相談所の虐待対応の充実強化を図るため、新設2箇所と代替2箇所の整備を計画的に進めており、今年度は、新設する(仮称)印旛児童相談所(仮称)東葛飾児童相談所について、令和8年度中の開設に向け建設工事に着手する予定です。

また、採用した職員が成長し、活躍できるように、昨年度に策定した人材育成基本方針に基づき、キャリアパスの見える化や市町村との人事交流などによる職員の育成を着実に進めています。

可能性のある箇所が532箇所あると先日発表されたところでもあり、特にそれら地域は重点的に法面の調査を行い、孤立することの無いように対応願います。

改めて掲げるとともに、その実現に向けた役割を整理することとしています。

また、構想検討会における、産業拠点形成や人材確保などの県の主張を具体化させるため、国等への働きかけを行うとともに、県としても、空港を最大限生かせる産業拠点の形成に向けた検討、魅力的なまちづくりや市町への支援など、令和10年度末の第三滑走路供用開始を見据えた空港周辺の地域づくりを加速化させてまいります。

